

平成28年度 子供ゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める「ファミリーキャンプ2月①」

平成28年度 教育事業 家庭の教育力を高める「ファミリーキャンプ2月②」

- 1 趣 旨 クラフトや星空観察などの体験活動を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。
- 2 期 日 ①平成29年2月11日（土）～12日（日） 1泊2日
②平成29年2月18日（土）～19日（日） 1泊2日
- 3 対 象 者 クラフトや星空観察などの体験活動に興味のある家族
- 4 募集定員 ①15家族、または60人程度
②14家族、または50人程度
- 5 参 加 者 ①13家族41人
②12家族40人
- 6 指 導 者 ①国立大隅青少年自然の家職員 ボランティア2人
②国立大隅青少年自然の家職員 ボランティア1人



7 日程と主な活動

1日目（土）	2日目（日）
14:10 受付（本館）	6:00 起床 荷物整理 清掃
14:40 出合いのつどい オリエンテーション	7:00 荷物移動
15:10 【飛ばして遊ぼう！】 「ブーメラン」「ミニパラシュート」 「スローグライダー」「袋ロケット」	7:30 朝食（レストラン）
17:30 移動	8:30 【スポーツクライミングにチャレンジ】 親子で7mの高さに挑戦
18:00 夕食（レストラン）	11:00 アンケート
19:00 【スターウォッチング】 冬のダイヤモンド オリオン座 プレアデス星団（すばる） など	11:15 別れのつどい
20:00 入浴	11:30 解散
22:00 消灯	



8 事業運営について

（1）本年度、国立大隅青少年自然の家では、「子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高めるファミリーキャンプ（全8回）」を年間を通して実施しているが、毎回定員を上回る応募があり、抽選により参加できない家族が出ている現状である。そこで、より多くの家族のニーズに応じるために、4回の「ファミリーキャンプ」を追加実施することとした。

今回、年度計画に位置付けてあった2月のファミリーキャンプと追加のファミリーキャンプを同内容の活動で、2週にわたって実施することで、参加者の抽選を行うことなく、より多くの家族が参加できるよう配慮した。

- (2) 2日間で3つの活動を取り入れることとしたが、幼児から小学生まで対応し、全員が楽しめる内容になるように工夫した。また、指導する際には、幼児にも分かりやすいようにその過程を見せながら説明していった。



9 事業の実際

- (1) 「出会いのつどい」の中で家族紹介をお願いしたが、一人で元気に家族全員を紹介できた低学年の子供もいた。
- (2) 「飛ばして遊ぼう」では、4種類のクラフト作成に挑戦していった。全体説明の後、小学生は試作品を参考にしながら、自分たちで作り始めていった。幼児は、保護者と協力したり指示されたりしながら、ゆっくりと進めていく姿が見られた。作り終えた後には、親子一緒に広いプレイホール（体育館）で飛ばし合いながら、楽しく遊んでいた。
- (3) 「スターウォッチング」では、初めに学習室内で冬の星座やその位置などについて学習し、その後天文広場での観察となった。非常に寒い中での星空観察となったが、冬のダイヤモンドやオリオン座などをきれいに観察することができ、その美しさに歓声がわいた。また、望遠鏡で月の表面や金星の様子を観察することができ、参加者はとても満足していた。
- (4) 「スポーツクライミングにチャレンジ」では、まず子供たちが7mの壁に挑戦し、その後希望する保護者にも挑戦していただいた。1回目、2回目で頂上まで登ることができなかった子供が、3回目の挑戦で成功したときには、達成感にあふれた笑顔を浮かべていた。



10 参加者の感想

- スポーツクライミングに参加できて、とても良かったと思います。(子供)
- 星空観察は寒かったけど、きれいな星空が見えて感動しました。クライミングも最初はできないとあきらめていたけど、何度もチャレンジして、頑張っている子供の姿が見られて良かったです。(保護者)
- 工作が楽しかった。食事もおいしく、スポーツクライミングの体験が楽しかった。やってみるのと見るのとでは全然違って、挑戦して良かったと思う。(保護者)



11 成 果

- 一緒にクラフトを行ったり遊んだりすることで、親子で楽しく交流する場を提供できた。
- 星座の学習や観察を行ったことにより、星への興味をさらに高めていった親子がいた。